



平成 28 年 5 月 30 日

各 位

会 社 名 黒田精工株式会社
代表者名 取締役社長 黒田 浩史
(コード番号 7726 東証 第 2 部)
問合せ先 経理部長 荻窪 康裕
(TEL 044-555-3800)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2016 年 5 月 30 日開催の取締役会において、2016 年度から 2018 年度までの 3 年間を対象とする中期経営計画 2018 を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

当社グループは、「精密技術を通じて世界の産業の高度化をサポートする」ことを使命とし、以下の 3 つの事業分野においてそれぞれ世界的にニッチトップとなることを目指します。中期的に営業利益 5 億円を安定的に確保する体制を確立するとともに、成長戦略の実行と収益力の改善、人材育成により企業価値の向上を図ります。

セグメント別の経営戦略に関しては下記のとおりです。

○駆動システム

駆動システム事業においては、小型精密直動システムに注力し、商品の拡充・製造改革による納期短縮・お客様との関係の一層の強化によるソリューション提案を通じて、この分野でのニッチトップ、即ち「誰よりも早くお客様のニーズに応えられる小型直動システムメーカー」を目指します。また 2012 年に買収した Jena Tec グループとのシナジーの加速と海外事業展開の強化により、Kuroda Jena Tec を精密直動システムの世界的ブランドとして確立することを目指します。

○金型システム

金型事業においては「高効率積層コア」のスペシャリストとして、世界で最高性能のモーター等の電機・電子部品積層コアとその製造システムのサプライヤーとなることを目指します。そのために、当社が開発した金型内接着積層システム「Glue FASTEC」等のプレス金型システムや周辺工程技術に更に磨きをかけて行きます。更にユーログループ等の当社パートナーとの提携を活用し、今後世界的に拡大が期待されるハイブリッド自動車・電気自動車等のエコカー用モーターや高効率モーター市場のグローバルな開拓を促進したいと考えております。

○機工・計測システム

機工・計測システム事業に関しては、過去数年間かけて商品の大幅な絞込み、ハイドロリックツールの富津工場移管による生産性向上と増産、計測システムと特殊治具と組み合わせた高付加価値研削盤等の開発、等の事業構造改革を推進して来ました。今後は、研削・研磨と計測に関する加工技術開発に注力するとともに、成長が期待される新興国市場における市場開拓も加速し、「精密な計測と加工の総合ソリューションプロバイダー」として、当社グループならではの商品やサービスを提供することを通じて、一連の構造改革の成果を収益成長につなげて行きたいと考えております。

以上